

the **Benefits**
and **Cost Savings**

of a **Hardware Refresh**

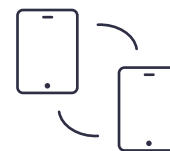


すべてのテクノロジーには 製品寿命があり、「誕生日」 が来るとにその価値が見 直されます。

その価値や、どれだけ早く減価償却するのかは、購入したデバイスによって異なります。これは驚くべきニュースではありませんが、驚くべきことは、組織や学校がテクノロジーの下取りを遅らせるだけで途方もない価値を失っているということです。

多くの組織や学校は、生徒や教師がいない夏や年末、オフィスが忙しくない時期に、デバイスの移行を行っています。

このタイミングでの移行の問題は、同じことをしている学校からのデバイスで買取り市場が溢れていることです。そして、経済学を専攻していなくても、供給が多いと需要が少なくなる、つまりデバイスの価値が落ち込むということは理解できるでしょう。



企業向けのApple利用におけるスタンダードであるJamfと、学校や組織向けのスタンダードなApple買取りパートナーであるDiamond Assetsが協力して、次のようなiPadの買取りに関するよくある質問に答えました。

- 古いデバイスを下取りに出すのに最適な時期は？
- 残存価値が最も高いデバイスは？
- テクノロジーを移行する際の準備は？
- 新しいデバイスをオンボードするには？
- 将来的なテクノロジーコストを予測し、財務的に持続可能な方法でテクノロジーへの投資を最適化するには？

デバイス移行入門






あなたも他の人と同じように、毎年テクノロジーを評価して、移行の時期かどうかを判断しているかもしれません。テクノロジーが新しくなると、ハードウェアの信頼性、パフォーマンス、およびバッテリー寿命が向上する一方で、サポートとリソースのコストは通常低下します。

テクノロジーの移行は常に起こっている

ペンと紙の時代が終わりに近づく一方で、従業員、教師、生徒は、仕事や学習環境を強化するために、対面でもリモートでも、最新のテクノロジーやソフトウェアへのアクセスに大きく依存しています。

今、組織や学校はこれまで以上に、すべての人に真のデジタルオポチュニティをもたらそうとしています。さらに重要なのは、すべての人が自宅で同じテクノロジーにアクセスできるわけではなく、中にはまったくアクセスできない人もいるということです。クラスルームや職場でのデジタルプログラムは、競争の場を平準化し、すべての人にデジタルの公平性を提供します。





移行に最適な時期は？

この電子書籍から他に何も得られなかったとしても、テクノロジーの下取りを夏まで待つのは、予算、ユーザー、ITスタッフにとって不利益になることだけは理解してください。

学校が夏ではなく秋や春にデバイスの移行をすると、市場がデバイスで溢れかえっている夏に起こる減価償却費の減少や市場の低迷を回避することができます。また、年末までハードウェアの移行を先送りしない組織にも同じことが言えます。

テクノロジーの製品寿命の話に戻ると、一般的にデバイスの価値は夏よりも春の方があります。夏前にデバイスを移行することで、デバイスの残存価値を高め、その過程で総所有コスト(TCO)を削減できます。

* 柔軟な買取りオプションは、すべてのデバイスが一度に移行されるわけではないため、IT部門、学習、および仕事への影響を最小限に抑えます。

10,000台のiPadデバイスで従来のテクノロジーを移行した場合

移行のタイミング	iPadの価値	残存価値	追加の残存価値
5月	\$110.14/iPad	\$1,101,400	+ \$131,000
6月	\$107.38/iPad	\$1,073,800	+ \$103,400
7月	\$104.70/iPad	\$1,047,000	+ \$76,600
8月	\$102.08/iPad	\$1,020,800	+ \$50,400
9月	\$99.53/iPad	\$995,300	+ \$24,900
10月	\$97.04/iPad	\$970,400	—

10,000台のiPadデバイスの柔軟な下取りオプション： 4ヶ月にわたって1ヶ月あたり2,500台のiPad*

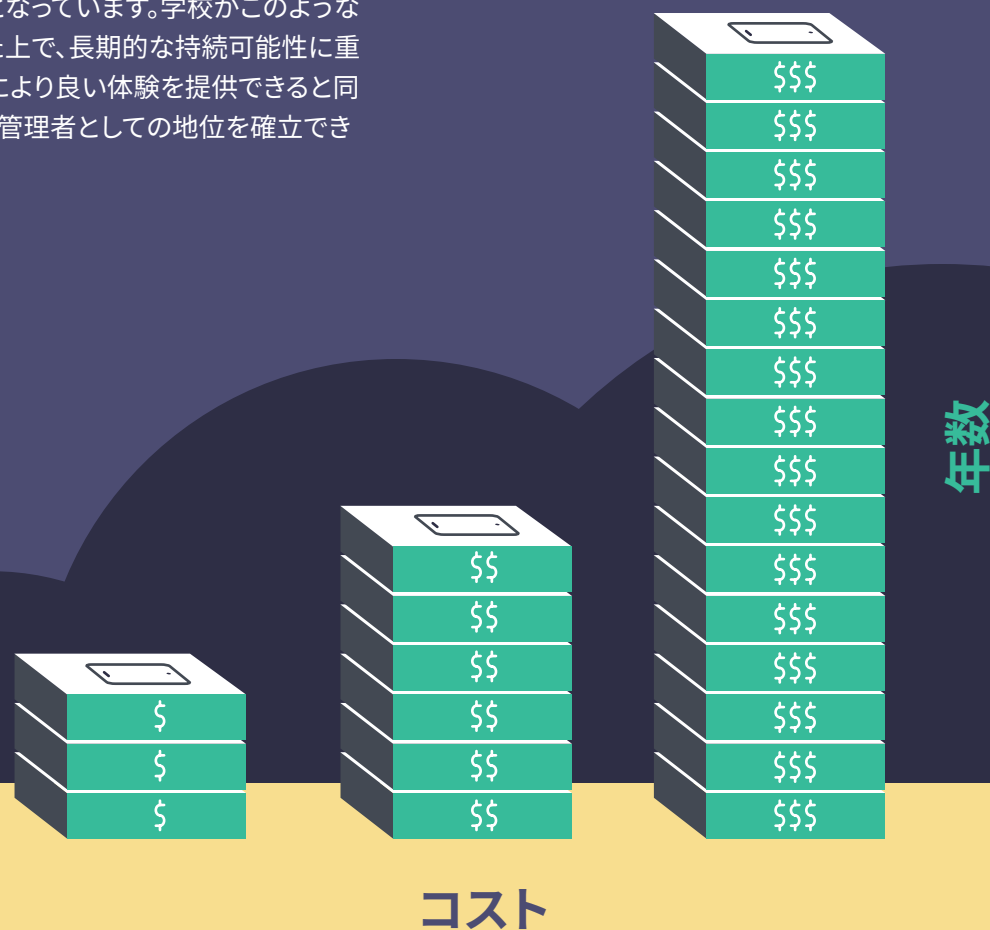
移行のタイミング	iPadの価値	残存価値	追加の残存価値
6月	\$107.38/iPad	\$268,450	+ \$54,225
7月	\$104.70/iPad	\$261,750	
8月	\$102.08/iPad	\$255,200	
9月	\$99.53/iPad	\$248,825	
冬季	~\$98.00/iPad	\$980,000	

テクノロジーに関して配慮すべき点

多くの場合、予算管理を担当する従業員は、テクノロジーデバイスにお金を使うことを、予算から「使い切る」年間の設備投資と考えています。このため、コストを節約するために、安価で劣ったテクノロジーを購入したり、使用可能なライフサイクルの全盛期を過ぎたデバイスを使い続けたりするような行動につながりかねません。先行投資でコストを抑えられることは魅力的かもしれませんが、よりよい機材と適切な移行のタイミングを選ぶことでデバイスの残存価値が高くなり、学校はデバイスのTCOを最小限に抑えることができます。

「使えなくなるまで使う」というアプローチが取られると、新しいハードウェアでしか使えない最新の機能やソフトを活用できず、生徒や教師、従業員にとっては良くない結果となります。さらに、これにより、学校や組織がデバイスの残存価値を活用して、次の新たなテクノロジーの支払いや下取りに役立てることができなくなります。

幼稚園から高校までの学区では、テクノロジーコストを正当化するというプレッシャーが高まっていると感じており、短期的なコストの節約を目標にしている学区もあります。これにより、GoogleのChromebookのような、iPadに代わる低コストの教育テクノロジーが流入しましたが、教育体験に最適なものが犠牲となっています。学校がこのような全体像を把握した上で、長期的な持続可能性に重点を置くと、生徒により良い体験を提供できると同時に、健全な財務管理者としての地位を確立できます。



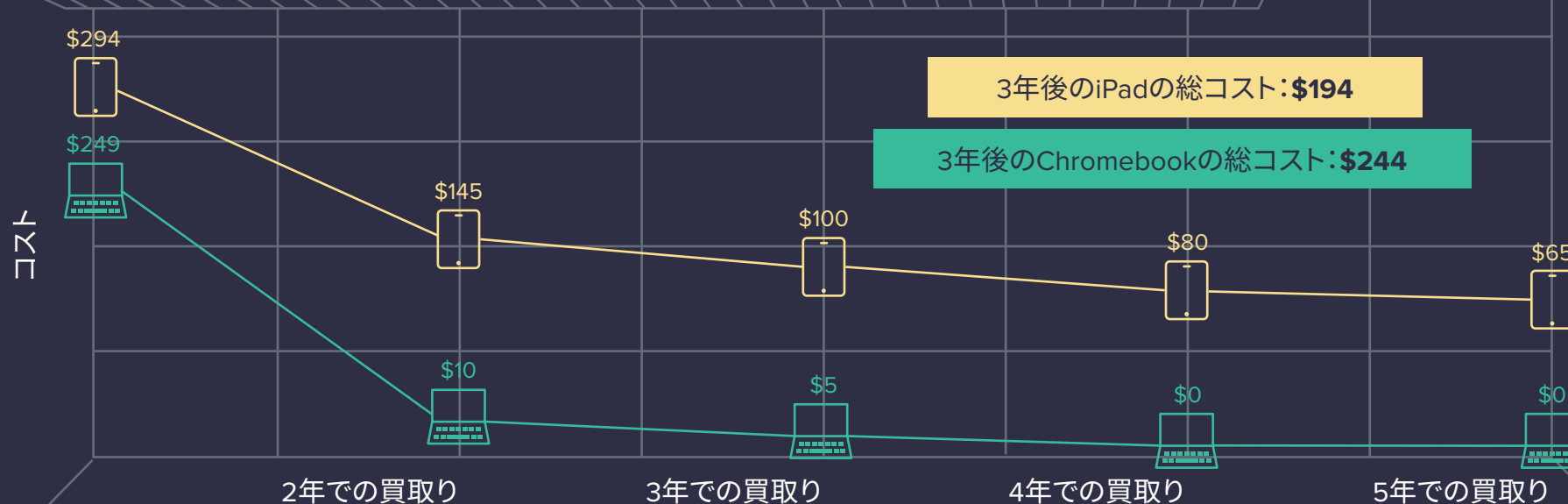
教育テクノロジーの真実

ChromebookはiPadに比べてコストが低いように見えますが、TCOを見るとそうではないことがよくあります。

2010年に最初にリリースされたiPadは教育向けにカスタマイズされており、教育用アプリとリソースを無限に供給し、他に類を見ない教育エコシステムを備えています。Appleは新しいiPadデバイスとオペレーティングシステムを着実にリリースしており、2020年はiPadの移行のための大きな年になると考えられています。これにより、学校は新しいテクノロジーを評価し、買取りやアップグレードを検討する機会が得られます。

Chromebookを活用している学校だと、このようにはなりません。現在の市場で需要がないため、2年前のChromebookの価値はわずか約\$10ですが、同年代のiPadの場合は\$145です。さらに2年後には、Chromebookの価値はゼロにまで下がりますが、iPadにはまだ約\$80の下取り価値があります。

TCOに関して言えば、iPadは通常3年後にはChromebookよりも安くなっています。残存価値をうまく利用して、iPadは学校が投資から最大限の利益を得られるようにし（Chromebookよりもはるかに長い期間）、新たなハードウェアの購入に向けて大きな価値をもたらします。



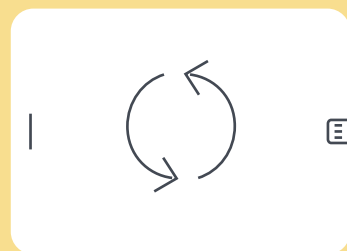
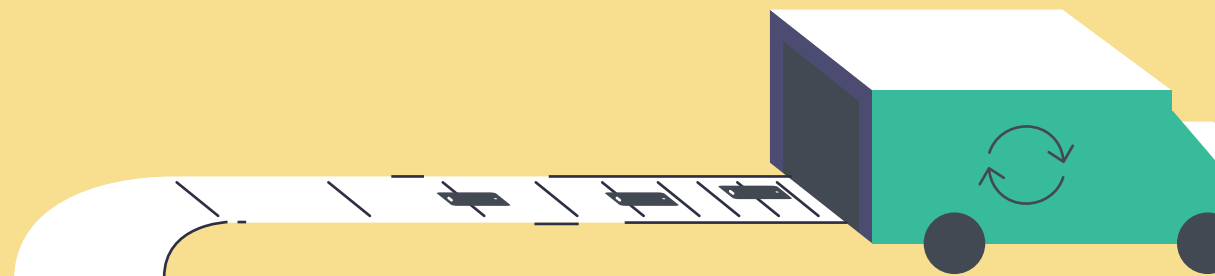
* Diamond Assetsの調査に基づく財務データ

* これらのチャートと価格は、Appleのテクノロジーの移行に最適な時期やAppleのテクノロジーが維持する残存価値を示しています。実際の市場価格を反映していない場合もあります。現在の価格については、Diamond Assets (buyback@diamondassets.com) まで直接お問い合わせください。

デバイスの規模に関していえば、機材の買取りと4年間のリースオプションを活用することで、テクノロジーへの支出が多い年と少ない年を交互に繰り返すのではなく、年間支出を抑え、年間設備投資額を予測可能なものにします。

予算の予測ができないことが、テクノロジーへの大規模な設備投資をないがしろにし、テクノロジーがより頻繁に移行されない主な理由となっています。しかし、学校や企業がテクノロジーを、電気、インターネット接続、水道など、他の必要不可欠な運営費と同じように捉えると、「あるといい」経費ではなく、計画的な経費になります。融資を受けると、通常4年間の融資期間中はコストが固定されているため、デバイスの予算をより小さく予測可能なものにできます。

指導者はこれらを一通り念頭に置き、Chromebookと比較してAppleはより優れた学習環境を提供していることだけでなく、TCOについても理解し、テクノロジー支出に対するアプローチを再考する必要があります。



古いiPadデバイスの販売方法

中古のデバイスをDiamond Assetsのようなテクノロジー買取業者に販売することで、組織は次のテクノロジーの購入に資金を投入でき、次世代のハードウェアの総コストを削減できます。

販売のプロセスはシンプルです。買取パートナーが、お使いのMDMプラットフォームに特化した統合や手順を持っているかを確認してください。そうでない場合は、IT部門は以下の手順に従ってデバイスを再販する準備をしてください。

- MDMソリューションを使用して、Diamond Assetsのようなベンダーに提供するデバイスのシリアル番号のインベントリレポートを実行する
- Apple Business ManagerまたはApple School Managerから登録トークンを削除する
- アクティベーションロックを無効にする
- 生徒のApple IDを削除する（学校のApple IDモデルによる、デバイスベースまたはユーザーベースの割り当て）
- デバイスをワイプし、工場出荷時の設定にリセットする（生徒データが共有されていないことを確認）

これらはすべて、MDM（モバイルデバイス管理）ソリューションで行い、自動化することができます。組織はMDMを活用して紛失モードをオンにし、iPadの紛失や引き渡しの遅れに気づくことができます。

MDMとは？

MDM（モバイルデバイス管理）とは、iPadなどのiPadOSデバイスを管理するためのAppleのフレームワークです。MDMは、学校が新しいデバイスを導入、インベントリを収集、設定を構成、アプリを管理、またはデバイス上のデータをワイプするのに役立ちます。

Apple Business Managerとは？

Apple Business Managerは、Appleの導入プログラムを統合し、設定、セキュリティコントロール、アプリ、書籍で構成されたMac、iPad、iPhone、Apple TVデバイスを組織が自動的にユーザーに直接導入できるようにします。

Apple School Managerとは？

Apple School Managerは、教育専用で、Appleの導入プログラムを統合します。Apple School Managerは、IT管理者のためのシンプルなウェブベースのポータルで、人、デバイス、コンテンツのすべてを一か所から管理できます。

アクティベーションロックとは？

アクティベーションロックは、デバイスの盗難を防ぐために設計されたiPadの機能です。アクティベーションロックにより、デバイスにアクセスするにはApple IDとパスワードの両方が必要になります。MDMは、アクティベーションロックの管理を可能にし、IT管理者はアクティベーションロックのバイパスコードを設定してデバイスのロックを解除することができます。

以下の手順に従って、Diamond Assetsが残りの処理を行います。

- デバイス購入の見積もりを学校に提供する
- Jamf Proでデバイスの移行サイクルを追跡するためのClarity CSVを追加する
- Diamond Assetsの従業員がデバイスのインベントリ、梱包、輸送を行う時間をスケジュールする
- デバイスの照合レポートを作成する
- 古いハードウェアの代金を支払う

その後、学校はAppleと直接連携して、新しいテクノロジーのデバイスを購入できます。



Diamond Assetsとは？

- 学校と直接連携して効果的かつ効率的なデバイス移行プランを設計してきた長年の経験を持つ、信頼できるAppleのハードウェア買取りパートナーです。
- Appleの買取りに特化したDiamond Assetsは、学校がAppleデバイスの残存価値を最大化できるように支援します。
- お客様を財務安定のサイクルに導くためのコーチングを提供します。
- 50州すべてでサービスを提供する全国サービスプロバイダー。

Diamond AssetsとJamfの提携によるClarityが、どのようにデバイス移行データへのアクセスを容易にしているかご覧ください。

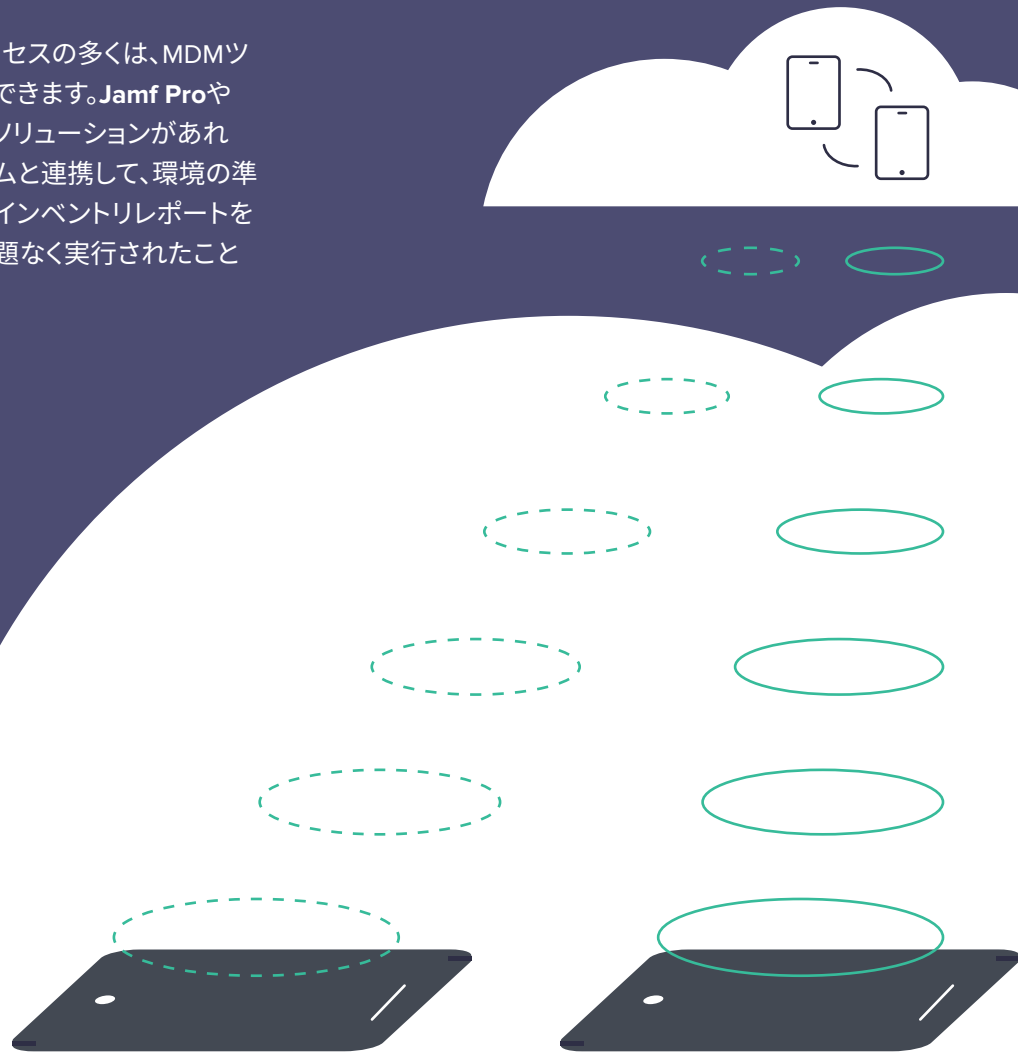
今すぐお読みください

新しいiPadデバイスのオンボード方法

買取り資金をテクノロジーに投入して新しいiPadデバイスを安く購入したら、デバイスのオンボーディングを実施するチームを決定することが重要です。このチームは、オンボーディングプランを策定し、ロジスティクス、従業員のキャパシティおよびエンドユーザーについて考慮する必要があります。

オンボーディングと導入プロセスの多くは、MDMツールを活用して再度自動化できます。**Jamf Pro**や**Jamf School**のようなMDMソリューションがあれば、カスタマーサポートチームと連携して、環境の準備、管理へのデバイス登録、インベントリレポートを実行することで、すべてが問題なく実行されたことを確認できます。

古いデバイスから新しいデバイスにデータを移行するには、iCloudを活用してデバイスデータの復元を迅速に行います。ただし、データ移行の方法は他にもあります。モバイルデバイス管理ベンダーのサポートチームに相談して、お使いの環境に最適な方法を選択してください。



iPadの下取りを成功させるための計画と手順

2020年以降、学校や組織は、将来の持続可能性計画を策定し、固定費をより予測可能にするために、テクノロジーを資本支出ではなく運営費として扱い始める必要があります。Diamond Assetsのようなパートナーは、お客様のニーズに合った適切な持続可能性計画の策定を支援します。

計画を立てることで、どのような予算が適切か、そして従業員、生徒、または教師が目標を達成できるように、いつ最新のテクノロジーを提供するか、知識に基づいた決定を下すことができます。

Apple School ManagerやApple Business ManagerなどのApple導入プログラムが進歩し、MDM機能が向上したことで、移行と導入はこれまで以上に管理しやすくなっています。

タイミングに関係なく、Jamf、Diamond Assets、Appleは迅速に行動して、デバイスの移行が学習や仕事にほとんどまたはまったく影響を与えないようにすることができます。

iPadの移行戦略と適切なAppleの管理ソリューションがあれば、学校や組織はシームレスな移行を自信を持って行うことができます。そうすれば、ITディレクターは安心して予算やユーザーの観点から恩恵を受けられます。

